

2024 年度 マイルストーン調査 報告書

2025 年 2 月 19 日

医学部 IR 室

1. 調査概要

1-1. 調査目的

本学医学部学生の学修成果（コンピテンシー・マイルストーン到達度）に関する実態を調査することを目的とした。

1-2. 調査項目

調査項目は、本学のコンピテンシー・マイルストーン（2 年次修了時、4 年次臨床実習開始前、卒業時）の各レベルの到達度について、学生が自己評価を行った。

1-3. 調査対象

2024 年度医学部 1～5 年生 599 名を対象とした。

1-4. 調査方法

4 年生においては 2024 年 10 月 11 日、5 年生においては 2024 年 9 月 30 日、1～3 年生においては 2025 年 2 月 14 日において、Web(AIDLE-K)による記名式の調査を実施した。

1-5. 回答者数と回収率

2024 年度 1 年生から 5 年生まで 486 名が回答した（回収率 81.1%）。

内訳は、1 年生が 106 名（回収率 87.6%）、2 年生が 117 名（回収率 92.1%）、3 年生が 46 名（回収率 38.7%）、4 年生が 115 名（回収率 98.3%）、5 年生 102 名（回収率 88.7%）であった。

2. 結果

コンピテンシー・マイルストーンは、2 年次レベル、4 年次臨床実習開始前レベルで設定されている。2 年次および 4 年次におけるマイルストーンにおける未達成割合および年度比較を示す。

表 1. マイルストーン未達成割合および年度比較

		レベルB（4 学年次臨床実習開始時）マイルストーン未達成割合（%）		レベルC（2 学年次修了時）マイルストーン未達成割合（%）		レベルB（4 学年次臨床実習開始時）マイルストーン未達成割合（%）	レベルC（2 学年次修了時）マイルストーン未達成割合（%）
コンピテンス	コンピテンシーNo	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	年度比較	年度比較
I. プロフェッショナルリズム	1	24.3	17.4	0.0	2.6	-6.9	2.6
	2	20.4	16.5	1.0	1.7	-3.9	0.7
	3	29.1	15.7	2.9	2.6	-13.5	-0.4
	4	34.0	36.5	7.8	8.5	2.5	0.7
	5	33.0	27.0	0.0	0.9	-6.1	0.9
	6	35.0	26.1	2.0	2.6	-8.9	0.6
	7	29.1	18.3	1.0	2.6	-10.9	1.6
	8	34.0	19.1	1.0	2.6	-14.9	1.6
	9	30.1	22.6	2.9	5.1	-7.5	2.2
	10	32.0	28.7	2.0	3.4	-3.3	1.5
	11	29.1	26.1	2.0	0.9	-3.0	-1.1
	12	17.5	13.9	2.9	1.7	-3.6	-1.2
	13	39.8	16.5	2.0	0.9	-23.3	-1.1
	14	22.3	27.8	2.0	2.6	5.5	0.6
	15	23.3	30.4	2.9	1.7	7.1	-1.2
II. コミュニケーション	16(1)	15.5	17.4	2.0	1.7	1.9	-0.3
	17(2)	30.1	20.9	2.9	3.4	-9.2	0.5
	18(3)	25.2	27.8	4.9	3.4	2.6	-1.5
	19(4)	28.2	26.1	2.0	4.3	-2.1	2.3
	20(5)	29.1	20.0	2.0	1.7	-9.1	-0.3
	21(6)	47.6	46.1	9.8	3.4	-1.5	-6.4
III. 医学知識と科学的探究心	22(1)	38.8	35.7	12.7	10.3	-3.2	-2.5
	23(2)	35.9	30.4	3.9	5.1	-5.5	1.2
	24(3)	33.0	32.2	8.8	4.3	-0.8	-4.6
	25(4)	33.0	32.2	12.7	6.8	-0.8	-5.9
	26(5)	40.8	40.0	11.8	14.5	-0.8	2.8
	27(6)	26.2	29.6	2.9	5.1	3.4	2.2
	28(7)	38.8	32.2	2.9	2.6	-6.7	-0.4
	29(8)	30.1	25.2	2.0	1.7	-4.9	-0.3
	30(9)	21.4	37.4	11.8	5.1	16.0	-6.6
	31(10)	35.9	40.0	3.9	3.4	4.1	-0.5
IV. 診療技能	32(1)	27.2	21.7	6.9	7.7	-5.4	0.8
	33(2)	29.1	24.3	18.6	21.4	-4.8	2.7
	34(3)	27.2	32.2	31.4	27.4	5.0	-4.0
	35(4)	40.8	45.2	22.5	21.4	4.4	-1.2
	36(5)	35.0	42.6	3.9	3.4	7.7	-0.5
	37(6)	41.7	40.0	7.8	10.3	-1.7	2.4
	38(7)	38.8	39.1	15.7	11.1	0.3	-4.6
	39(8)	34.0	40.9	11.8	17.9	6.9	6.2
	40(9)	35.0	33.0	15.7	14.5	-1.9	-1.2
V. 地域社会への貢献	41(1)	37.9	37.4	8.8	4.3	-0.5	-4.6
	42(2)	28.2	39.1	17.6	10.3	11.0	-7.4
	43(3)	35.0	43.5	18.6	12.8	8.5	-5.8
	44(4)	42.7	43.5	17.6	8.5	0.8	-9.1
	45(5)	35.9	44.3	17.6	12.0	8.4	-5.7
	46(6)	29.1	36.5	10.8	6.8	7.4	-3.9
	47(7)	46.6	60.0	15.7	11.1	13.4	-4.6

- 2 学年次のマイルストーンの未達成割合が 30%以上の項目は該当しなかった。

- 4 学年次のマイルストーンの未達成割合が 40%以上は下記 11 項目が該当した。

II. コミュニケーション

21. 様々な ICT (Information and Communication Technology) を適切に選択し、活用できる。

(4 学年次マイルストーン)

病態・検査・治療を ICT を活用しながら説明できる。

III. 医学知識と科学的探究心

26. 疾患の適切な治療、最新の治療を理解し説明できる。

(4 学年次マイルストーン)

疾患ごとの、基本的な治療を説明することができる。

31. 医学、医療における客観的根拠を適切に探索し、EBM を実践できる。

(4 学年次マイルストーン)

与えられた臨床的疑問について、チェックリストを用いた批判的吟味ができる。

IV. 診療技能

35. 適切な検査を選択し、結果を正しく解釈できる。

(4 学年次マイルストーン)

主要な疾患について診断に必要な検査を選択し、その感度、特異度を踏まえて、検査結果を正しく解釈することができる。

36. 時、相手・場所に応じた適切なプレゼンテーションができる。

(4 学年次マイルストーン)

伝えたい内容を聴く人が理解しやすいようにプレゼンテーションができる。

37. 患者と家族に対し、エビデンスに基づいて、適切に治療法・予後を説明できる。

(4 学年次マイルストーン)

聞き手の理解に合わせた「患者・家族への説明」を模擬的に実施できる。

39. プライマリ・ケア領域の救急対応ができる。

(4 学年次マイルストーン)

プライマリ・ケア領域の救急対応について説明し、シミュレーションにおいて基本手技を実施できる。

V. 地域社会への貢献

43. 医療計画，地域医療構想について説明できる。

(4 学年次マイルストーン)

わが国における医療計画として、地域医療の効率化、体系化の意義を概説できる。(医療法第 30 条)

44. 住民啓発活動や一次医療の診療補助により地域医療に参加ができる。

(4 学年次マイルストーン)

地域医療における住民啓発活動や一次診療の具体的内容を説明できる。

45. 社会保障制度を理解し，地域包括ケアの実践に参加できる。

(4 学年次マイルストーン)

高齢者社会における地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築にかかわる取り組みを説明できる。

47. 国際社会の健康問題を把握，説明することができ，可能な範囲でその問題に対処できる。

(4 学年次マイルストーン)

我が国のみならずアメリカ、ヨーロッパ諸国、アジア諸国のヘルスケアの様々なあり方について概説できる。

3. まとめ

マイルストーン調査を各学年で行い、マイルストーンの到達度が低い項目を抽出した。今年度においては、2 学年次において、マイルストーンの未達成割合 30%以上が該当しなかった。2022 年度においては、マイルストーンの未達成割合 50%以上が 1 項目、30%以上が 4 項目該当していた。2023 年度においては、マイルストーンの未達成割合 30%以上が 1 項目のみ該当していたが、2024 年度においては、2 学年次における未達成マイルストーンの改善がみられた。

一方、4 学年次においては、マイルストーンの未達成割合 40%以上が 11 項目該当した。2022 年度において、マイルストーンの未達成割合は 50%以上が 5 項目、40%代が 12 項目該当していたが、2023 年度はマイルストーンの未達成割合 40%以上は 6 項目のみとなり改善傾向にあった。しかし、2024 年度に関してはマイルストーンの未達成割合が 11 項目と増加した。2024 年度に新たに該当した 5 項目は、「31. 医学，医療における客観的根拠を適切に探索し，EBM を実践できる。」「36. 時，相手・場所に応じた適切なプレゼンテーションができる。」「39. プライマリ・ケア領域の救急対応ができる。」「43. 医療

計画，地域医療構想について説明できる。」「45. 社会保障制度を理解し，地域包括ケアの実践に参加できる。」である。来年度以降も同様に検討し、今後、新カリキュラムによる変化を検証していきたいと考える。